

インフルエンザ週報 2015年 第51週 (12月14日～12月20日)

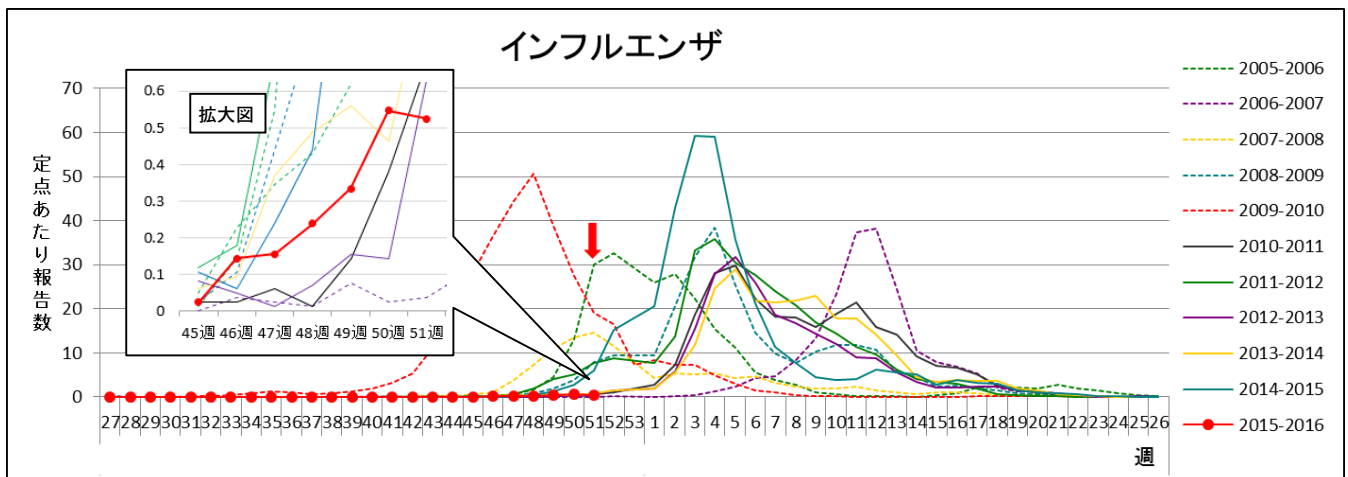
【お知らせ】次週、2015年第52週(12/21～12/27)のインフルエンザ週報は、2016年1月7日(木)13:00にホームページへ掲載いたします。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で44名の報告がありました(84定点医療機関報告)。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第52週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が2施設でありました。(12月21～22日)



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体では44名(定点あたり0.55 → 0.52人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、真庭以外のすべての地域で患者が報告されており、特に備中地域(1.42人)、備北地域(1.00人)で、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり1.0人」に達しています。

第50週全国集計によると、全国の定点あたり報告数は0.34人であり、前週(0.21人)よりわずかに増加しました。都道府県別では、秋田県(2.39人)、沖縄県(1.28人)、北海道(1.10人)の順で、定点あたり報告数が多くなっています。

この時期、ほとんどの学校は冬休みに入るため、学校での感染の機会は減りますが、『外出後や食事前の手洗いを徹底する。』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する。』『十分な睡眠を取る。』など、感染予防に努めてください。また予防接種を予定している方は、早めに済ませましょう。

[平成27年第50週 インフルエンザの発生状況について\(厚生労働省\)](#)
[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が出現するまで、2週間程度かかります。
本格的な流行がはじまる前に予防接種を済ませることをお勧めします。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。

定期予防接種対象者

- * 65歳以上の方
- * 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

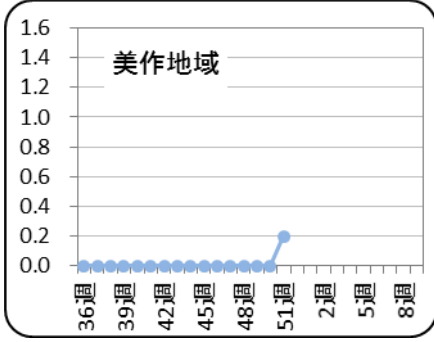
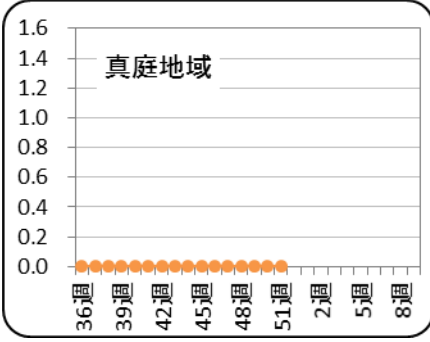
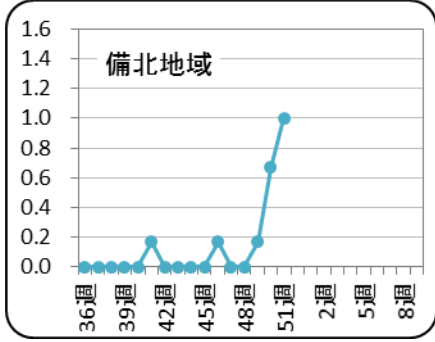
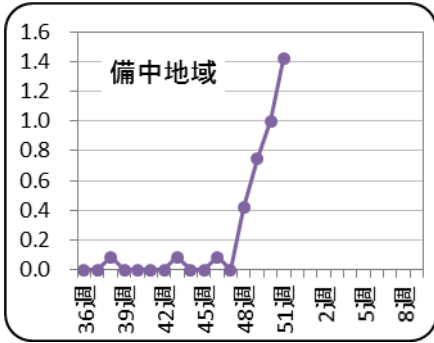
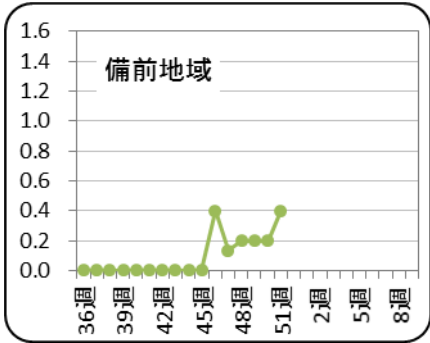
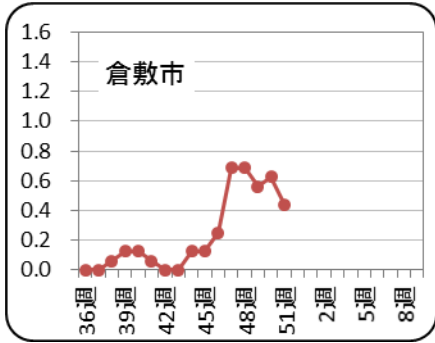
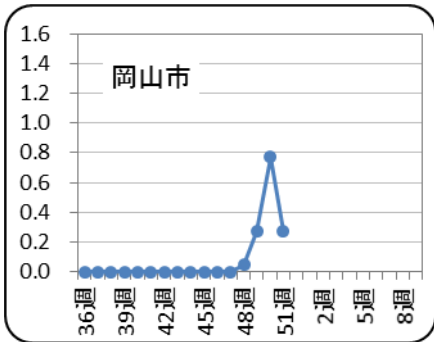
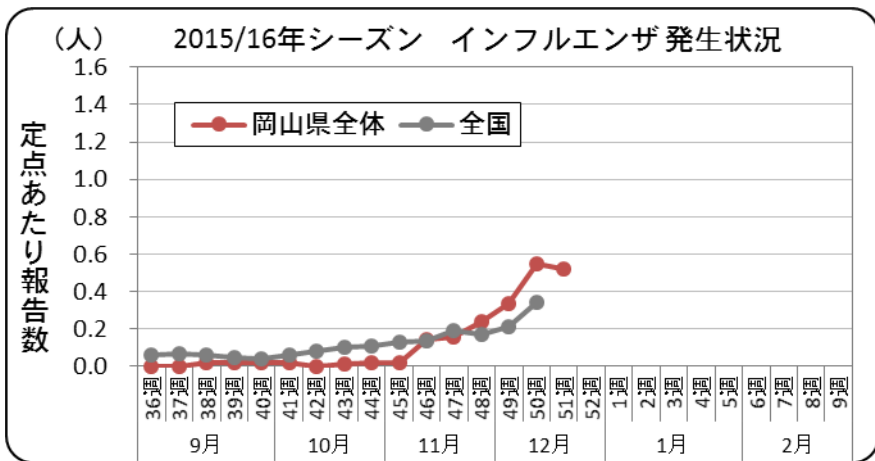
◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

1.地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

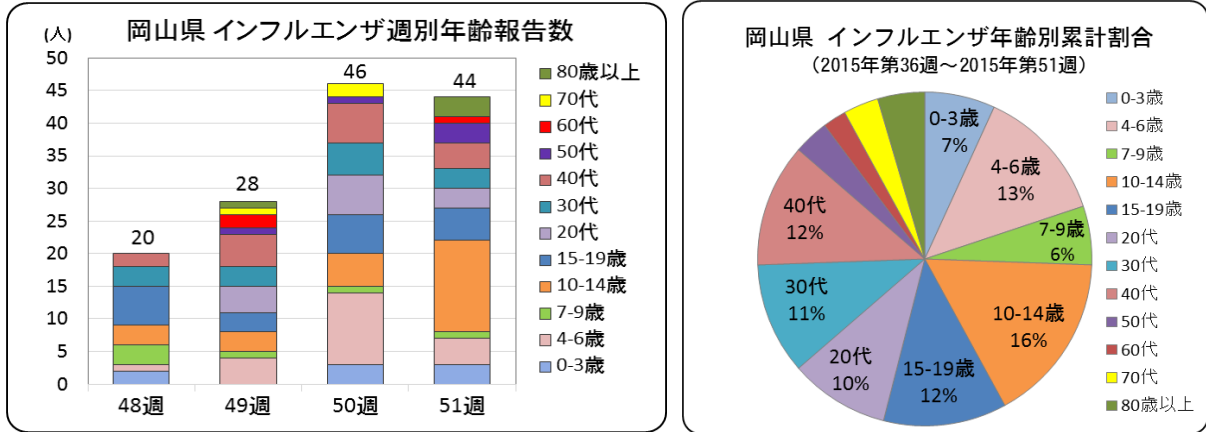
地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	44	➡	備 中	患者数	17	➡
	定点あたり	0.52			定点あたり	1.42	
岡山市	患者数	6	⬇	備 北	患者数	6	➡
	定点あたり	0.27			定点あたり	1.00	
倉敷市	患者数	7	➡	真 庭	患者数	—	➡
	定点あたり	0.44			定点あたり	—	
備 前	患者数	6	➡	美 作	患者数	2	⬆
	定点あたり	0.40			定点あたり	0.20	

【記号の説明】 前週からの推移
 ⬇ : 2倍以上の減少 ⬇ : 1.1~2倍未満の減少 ➡ : 1.1未満の増減
 ➡ : 1.1~2倍未満の増加 ⬆ : 2倍以上の増加



2. 年齢別発生状況

今シーズン（2015年8月31日～）の年齢別累計割合は、10-14歳 16%、4-6歳 13%、15-19歳・40歳代 各 12% の順で高くなっています。

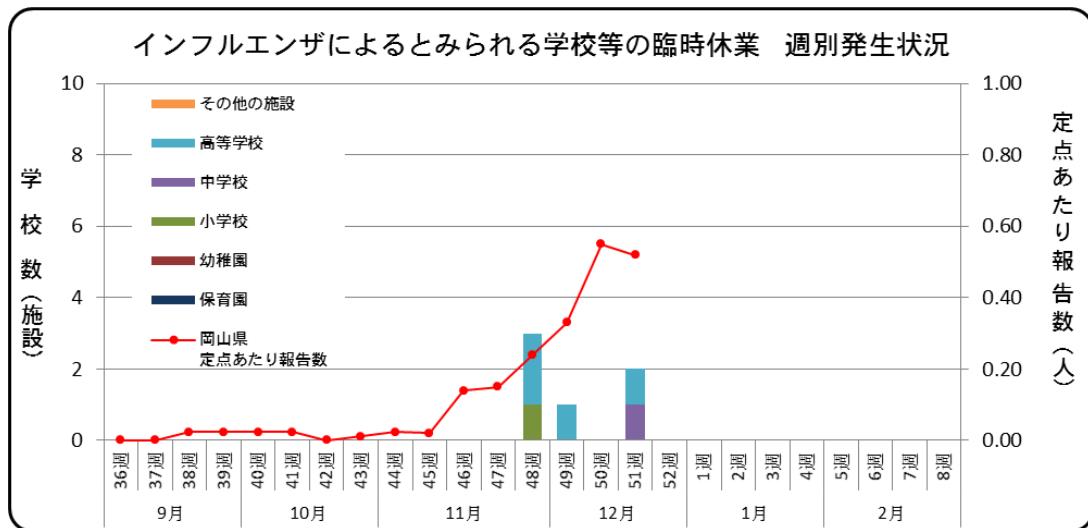


3. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が 2 施設でありました。

【第 51 週 臨時休業施設数】

▽倉敷市 1 ▽総社市 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	21	63	17	49	2	6	-	-	-	-	2	6	H27.11.24
岡山市	0	9	0	6	0	1	-	-	-	-	0	1	H27.11.24
倉敷市	11	11	9	9	1	1	-	-	-	-	1	1	H27.12.15
備前地域	0	9	0	7	0	1	-	-	-	-	0	1	H27.11.24
備中地域	10	34	8	27	1	3	-	-	-	-	1	3	H27.11.24
備北地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真庭地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
美作地域	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第 51 週：2 施設 累計：6 施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	-	-	-	-	0	1	1	1	1	4	-	-

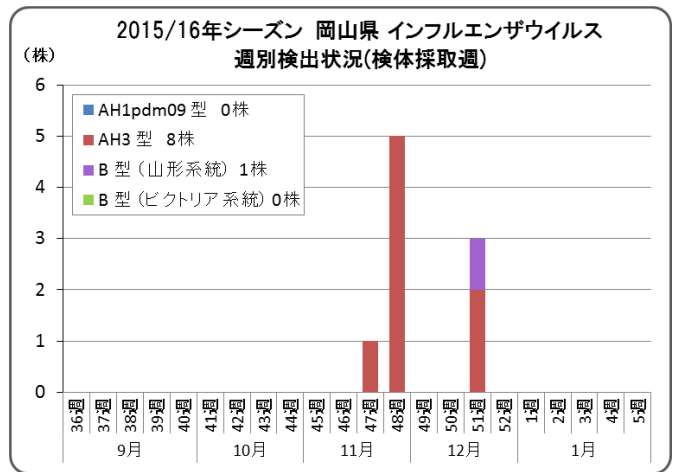
4. インフルエンザウイルス検出状況

第51週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、AH3型が2株、B型（山形系統）が1株でした。

今シーズンこれまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が8株（89%）、B型（山形系統）が1株（11%）となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型80株、AH1pdm09型53株、B型42株となっています。（2015年12月18日現在）

[インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）](#)

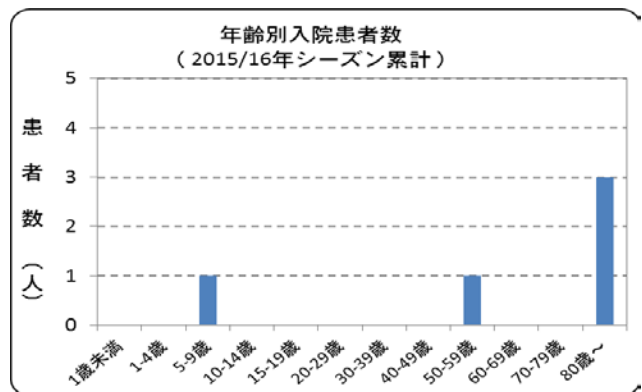
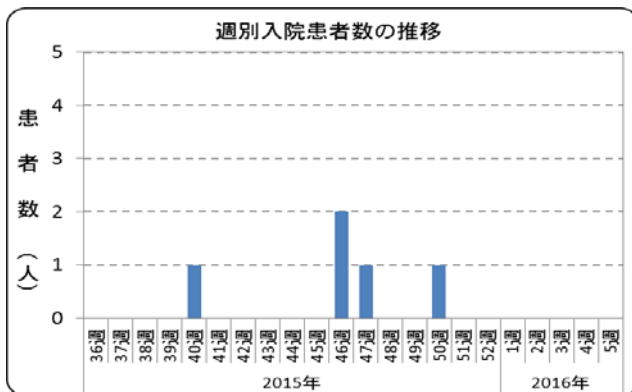


ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルスAH3亜型	2015年第51週(12/14~12/20)	2015/12/14	備中	中学生	女	集団発生
インフルエンザウイルスAH3亜型	2015年第51週(12/14~12/20)	2015/12/14	備中	中学生	男	集団発生
インフルエンザウイルスB型	2015年第51週(12/14~12/20)	2015/12/14	備前	40代	女	山形系統

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【2015年8月31日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数			1						1			3	5
ICU入室			1						1				2
人工呼吸器の利用			1										1
頭部CT検査(予定含)													
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)			1										1
いずれにも該当せず												3	3

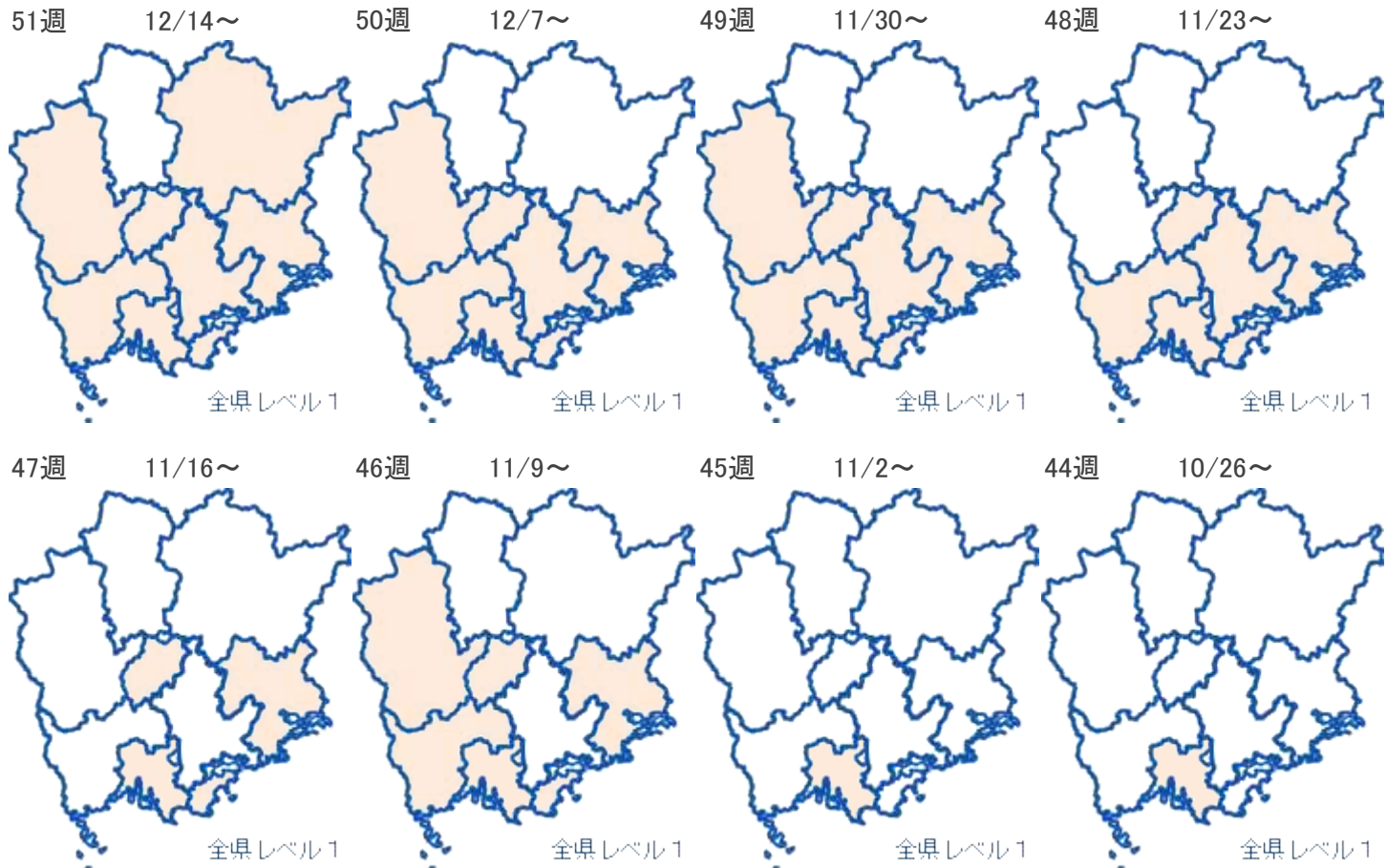
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2015年 51週

2015年12月24日

9:12:50



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。